

地震が起こる前に対策しよう!

地震が起こった時、まずは身の安全を確保することが大切です。耐震性のある住まいは、大切な家族の命や財産を地震による被害から守ってくれます。また、避難が必要になった場合には、逃げ道をふさがれることのないよう、住まいの内と外の安全性を確保しておくことが大切です。家具などの転倒防止はもちろん、住まいの地盤の状況やブロック塀・石積塀の安全性のチェックを行い、必要に応じて市の補助制度等を活用して住まいの耐震対策を行いましょう。

ブロック塀の危険度チェックシート

※レンガや石材の塀の場合は市役所へお問い合わせください。

- 高さが2mを超える。(厚さが15cm以上であれば2.2m)
- 厚さが10cm未満である。
- 傾きがある。
- 透かしブロックが連続で配置されている。
- ぐらつきがある。
- 亀裂・破損がある。
- コンクリートの基礎がない。
- 塀を支える壁がない。 ※高さが1.2mを超えている場合



PRキャラクター ボロっペイちゃん

チェックが1つでもあれば安全性に欠ける可能性があるため対策を考えましょう!

岡崎市では地震に備えて以下の補助を行っています。

○木造住宅の無料耐震診断

昭和56年5月以前に建てられた木造住宅の場合、耐震診断員による無料診断が受けられます。

※昭和56年6月から平成12年5月までに建てられた木造住宅の耐震診断は有料で受けられます。

○木造住宅の耐震改修工事費補助金

無料耐震診断の結果をもとに補強工事をする場合、最大100万円までの補助が受けられます。

○住宅除却費補助金

昭和56年5月以前に建てられた耐震性の低い木造住宅を建替える際などに除却費の補助が受けられます。

○耐震シェルター等整備費補助金

無料耐震診断の判定値が0.4以下の木造住宅で高齢者または障がい者が居住する場合、耐震シェルターや防災ベッドを整備する費用の補助が受けられます。

○ブロック塀等の撤去費補助

道路に面した一定の高さを超えるブロック、レンガ、石材などの組積造の塀で、転倒のおそれがあるものは、撤去費の補助が受けられます。

※1 非木造住宅の耐震診断・耐震改修工事の補助制度については市役所へお問い合わせください。

お問合せ先 **都市政策部住環境政策課**

市役所 西庁舎1階

☎23-6709

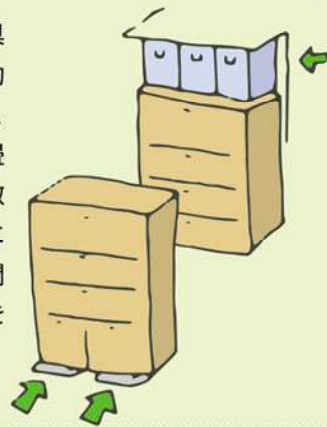
1 Part できることから、こつこつと

防災対策を始めるポイントは、一気に片づけようとせず、たとえば毎月予算を決め、その範囲でできる対策を積み重ねていくこと。今月は家具の固定、来月はガラスに飛散防止フィルムを貼るなど、地道な積み重ねで達成感もぐっと高まります。



2 Part 家具が凶器になる前に

倒れやすい家具は、L字金具等で壁に固定するのが有効です。応急的な対策として、つっぱり棒を設置するか、畳んだ新聞紙を家具の下に敷き、さらに天井と家具の間に段ボール箱を詰めてすき間をなくせば、一定の効果を得られます。



3 Part 冷蔵庫にも食材をストック

乾パンや缶詰だけでなく、災害時には、まず冷蔵庫内の食材から使うようにすると効率的です。そこで日ごろから茹で野菜を冷凍しておいたり、チーズや納豆など、すぐに食べられるものを意識してストックしておけば、栄養の偏りも防げます。



4 Part 支援の手とつながっておく

介護が必要な家族や小さな子供がいる場合、確実に支援を受けられるよう、日ごろから地域とのかかわりの中で、存在を知ってもらうことが大切です。また自治体の担当課、社会福祉協議会、民生委員など、関係機関にも相談しておきましょう。



5 Part これぞ!災害時に役立つグッズ

包装用ラップは食器の上に敷けば、洗わなくても同じ皿を何度も使えます。またストッキングは三つ編みにすれば丈夫なロープになります。一般電話や携帯電話が繋がらない時のために、公衆電話が使えるように10円玉を複数枚用意しておくとも便利です。



6 Part 応急手当は身の回り品で

多くのケガ人が同時に発生した場合、応急手当のグッズが不足します。一時的なものでする、バンダナは止血に、新聞紙や雑誌、折り畳み傘は骨折時の添え木に代用できます。またレジ袋の両端を切り、持ち手に首を通せば三角巾代わりに。

